

みなさん、こんにちは！
記録的な大雪で、県内は真っ白です。元に戻るまで、もう少し時間が必要ですが、それでも春はもうすぐです。県立文化施設では春を彩る魅力的な展示やイベントをたくさん用意して皆さんをお待ちしています。

県立美術館、博物館、考古博物館、文学館

小・中・高校生等の観覧料が無料化される予定です！

学校に通っている皆さんにとって、すばらしい芸術やふるさとの歴史にふれあうことはとても大切なことです。もっと皆さんに、美術館や博物館にきて、見て、感じてもらいたい。

そこで、小学生、中学生、高校生などの皆さんは、お金を払わなくても美術館や博物館などの展示を見られるようにする予定です。

常設の展示だけでなく、特別な企画の展示会も無料にしていく予定です。今年も魅力的な展示をたくさん用意しています。

小学生の皆さんには少し難しいかもしれませんが、楽しめる展示や企画がたくさんあります。

春休み前には無料にする予定です。春休みには美術館や博物館、考古博物館、文学館にきて何度でも展示を見てください。

なお、県立科学館の入館料や観覧料は無料になりませんのでご注意ください。お願いします。

県立博物館 「手塚治虫×石ノ森章太郎」マンガのちから

マンガを読んだことのない子どもは少ないと思います。大好きな人、多いですよ。

マンガは日本を代表する文化として世界からも注目されていて、今や私たちの生活にも欠かすことのできないものとなっています。そのマンガの礎を築いたのが、国民的に人気のある手塚治虫や石ノ森章太郎に代表されるマンガ家たちです。

二人は戦後日本の代表的なマンガを次々に生み出し、多くの人々に笑いや勇気、希望や感動など様々な「ちから」を与えてきました。



手塚 治虫



石ノ森章太郎 ©石森プロ

今回の展示では、「鉄腕アトム」「ブラック・ジャック」や「サイボーグ009」「仮面ライダー」などの代表作品の貴重な原稿や掲載誌など、さまざまな資料をおとして、二人のあゆみと作品に込められた自然と文明、人間や未

来などについてのメッセージを振り返りながら、いまや日本発の世界的な文化として成長をとげたマンガの「ちから」の源流を探ります。また、彼等が青春時代を過ごしたマンガの聖地「トキワ荘」も再現展示します。



「鉄腕アトム」直筆原稿 ©手塚プロダクション



「サイボーグ009」直筆原稿 ©石森プロ

開催期間は、三月二十一日(金・祝)から五月十九日(月)までです。

県立文学館 「村岡花子展 ことばの虹を架ける」山梨からアンの世界へ

明治から昭和の時代を生き、夢あふれる童話や翻訳小説を世に送り出した村岡花子。彼女をモデルにしたNHKの朝の連続テレビ小説が春から放送されます。

花子は、「赤毛のアン」を日本に初めて紹介した人です。



『赤毛のアン』(1952年三笠書房刊)(山梨県立文学館寄託)

一九三九(昭和十四)年、カナダ人の友人からモンゴメリ原作『Anne of Green Gables』を贈られました。戦争中、敵国カナダの小説を翻訳するのは危険でしたが、ひそかに続け、一九五二(昭和二十七年)年『赤毛のアン』として刊行したのです。夢見るのが大好きな少女アンの物語は、ベストセラーとなりました。

花子は、一八九三(明治二十六年)甲府市に生まれました。五歳で東京に移り、東洋英和女学校で十年間学び、英語の力を身につけました。一九一四(大正三)年から五年間、甲府の山梨英和女学校で英語教師として勤めました。



山梨英和女学校での教師時代の花子(提供 赤毛のアン記念館・村岡花子文庫)

その後、東京へ戻って結婚。関東大震災や戦争、幼い息子の死など困難を乗り越えて、多くの童話を書き、外国の児童文学を翻訳しました。

今回の展示では、「アンの部屋」を再現したり、貴重な映像などを視聴したりするコーナーも設けました。

花子に関わるワークショップや映画の上映も予定しています。

開催期間は、四月十二日(土)から六月二十九日(日)までです。

県立考古博物館 「縄文人の装い」県内出土の装身具

「装身具」と聞いて皆さんが想像するものは？指輪？ブレスレット？ 皆さんは持っていますか？ 学校に持ってきたら先生に怒られて

しまうかもしれません、「お出かけ」やお休みの日はアクセサリーを身につけて、いつもと違う自分になることがあると思います。

今から数千年前の縄文時代の人々も、私たちと同じようにたくさんアクセサリーで身を飾っていたことが分かっています。遺跡を発掘すると、今でも宝石として知られるヒスイのペンダントや粘土製とは思えない美しい細工のピアスなどが出土しています。

でも、いろいろ調べてみると縄文時代の人々と現代の私たちとは、アクセサリーに対する思いがちよつと違うようです。遙か縄文時代の素敵なアクセサリーを見ながら、ただ美しいだけじゃない！不思議な「縄文の装身具」の力について考えてみませんか。



欠けたピアスをペンダントに再利用 けつ状耳飾り(笛吹市 花鳥山遺跡)

開催期間は、四月二十六日(土)から六月十五日(日)までです。

県立美術館 「動く！ 光る？ 魔法の芸術」キネティック・アート

ぐるぐる、ぴかぴか、ぶいーん…。もし、美術館の作品たちが動いたり光ったりしたら、楽しそうだと思いますか？

県立美術館で四月二十六日から始まる「キネティック・アート」展では、まるで魔法のように動く作品がたくさん登場します。機械じかけで動いたり、

電気で光ったり、じつと見つめていると、あらふしぎ、ぐるぐる回っているように見えたり…。

「キネティック・アート」とは、「動く芸術」という意味で、一九五〇年代から六〇年代のヨーロッパでたくさん作られました。まだふつうの人がコンピュータを使っていなかった時代に実験的に作られた、電気や磁石の力を使って動く、とてもふしぎな作品です。

今回展示するのは、日本で初めて紹介する作品ばかりです。全部で約九十点の作品たちは、すべてイタリアからやってきました。

「どうやって動いているのかな？」みんな考えてながら、魔法のように楽しくてふしぎなアートを、ぜひ県立美術館で見せてみてくださいね！



フランコ・グリニャーニ
《波の接合 33》1965年
「Galleria d'arte Niccoli PARMA」

開催期間は、四月二十六日（土）から六月十五日（日）までです。

県立科学館

「ハローキティのワンダーランド」 科学の国へようこそ

二〇一四年に、生誕四〇周年を迎えるハローキティ。キティちゃんと一緒に、「不思議の国のアリス」の世界に迷い込み、科学の不思議を体験していく、大人も子どもも楽しめるサイエンスプログラムです。

開催期間は、三月八日（土）から四月

六日（日）までです。大人二〇〇円、小学生～高校生一〇〇円、幼児無料。
※入館料別途



©76,14 SANRIO APPROVAL No.SP541497

企画展「クローン動物最前線」 日本初！クローンマウス生体展示

世界初のクローンマウス「キユムリナー」を誕生させた、クローンの世界的権威である山梨大学教授 若山照彦先生の研究を紹介します。クローンマウスの生体展示も予定しています。
展示期間は、三月二十一日（金・祝）から四月六日（日）までです。無料。
※入館料別途

県立図書館

資料紹介展示

「12冊にすめたい本 2014」

皆さんは一年間に本が何冊出版されるか知っていますか？答えは約八二、二〇〇冊（出典『出版年鑑』）。このたくさんの中から、県内の図書館員がおもしろい、役立つ、感動するなど様々な理由で皆さんに今、読んでもらいたい本一〇冊を選びました。選ばれた本を集め、紹介する展示がこちらです。好きな本を手にとってみてください。先生方も、授業で活用できる本、読み聞かせに使える本などをお探しの場合は、学校図書館での購入の参考にぜひご覧ください。
開催期間は四月二十三日（水）から五月十一日（日）までです。無料。

※四月二十五日（金）、二十八日（月）、五月七日（水）はお休みします。



先生方へ

「博学連携のお知らせ」 県立美術館、博物館、 考古博物館、文学館、科学館

博学連携の推進のため、県立美術館、博物館、考古博物館（埋蔵文化財センター）、文学館、科学館では、教育プログラムの開設や出前授業など各館の特色を生かした教育普及事業を実施しています。詳細は各館担当者にお問い合わせ下さい。

（県立美術館）

○教育プログラム ハイビジョンソフトの鑑賞や展覧会の見学とを組み合わせ、各学年層に応じた鑑賞プログラムを作成します。

○出前授業 アートボックスを活用した鑑賞の実技指導、修学旅行事前学習のための日本美術講座、美術館の活動や収蔵品についての講演などを行います。

○貸出教材 鑑賞、実技演習のできる移動式アートボックス、アートカードやミラーとルソンのDVD等があります

○職場体験 美術館の仕事、学芸員の仕事等の体験ができます。

○教師のための鑑賞研究会 特別展ごとに開催するほか、学校、教育団体での研修など、随時相談に応じます。

（県立博物館）

○教育プログラム 「展示ガイド・ワークシート・体験工房各30分」の標準メニューに、オプションとして、「学習映画・企画展観覧・紙芝居・紙工作・ミニ授業」等のプログラムがあります。

○出前授業 「修学旅行事前学習（鎌倉）」「甲府空襲」「富士山学」（小学

校向け）「県内巡り事前学習」（中学校向け）など、各学年の発達段階に応じて、わかりやすく授業を行います。

○貸出教材 古代木簡セットや戦国キッ卜、江戸時代キット、旅姿キット、紙芝居等があります。

○職場体験 接客や資料整理等の体験ができます。七月下旬から八月上旬を予定しています（他の月でも可能）。

○かいいあむティーチャーズクラブ 先生方の博物館活動を全面的にバックアップします。県内の教育機関にお勤めの先生ならどなたでも入会でき、常設展や企画展を無料で観覧できます
問い合わせ先 博物館企画交流課
電話（〇五五・二六二・一二七八）

（県立考古博物館）

○学習プログラム 博物館見学と古墳見学、体験学習を合わせた各学年層に応じたプログラムがあります。体験には学年制限があり、材料費が必要な場合があります。

○貸出教材 古代衣装があります。
問い合わせ先 考古博物館
電話（〇五五・二六六・三八八一）

（埋蔵文化財センター）

○出前授業 土器作り、石器作り火起こし体験などを指導・支援します。

○貸出教材 土器や石器等の古代資料
問い合わせ先 埋蔵文化財センター
電話（〇五五・二六六・三〇一六）

（考古博物館・埋蔵文化財センター）

○職場体験 考古博物館と埋蔵文化財センターが共同で受け入れています。

○教師のための研修会 「山梨の考古学と埋蔵文化財活用研修会」を開催します。（八月予定）臨時研修も随時受け入れています。

（県立文学館）

○学習プログラム 展示解説とチャレンジクイズの他に、芸術の森公園を使ったオリエンテーリング「文学の柱」、茶室素心菴での茶道体験など人数や学年目的に応じたプログラムがあります。

○出前授業 俳句、短歌の実作指導や職業講話、山梨ゆかりの作家をテーマとした文学講座など、多彩なプログラムがあります。

○アウトリーチ 常設展示室で紹介している作家についてのDVD、石川・木の等身大パネルと木の生涯を紹介したポスターパネルがあります。今年度は、飯田蛇笏・龍太のちまちな人形セットの貸出も予定しています。

○職場体験 学芸員や普及員、資料情報課職員また施設管理に関する仕事を体験できます。受け入れは八月上旬を予定しています。

○教師のための学習会 展覧会ごとに開催するほか随時相談に応じます。講義は展示担当学芸員が担当します。
問い合わせ先 文学館学芸課教育普及担当
電話（〇五五・一三五・八〇八〇）

（県立科学館）

○学習利用 プラネタリウム、天体観測室、実験・工作教室、サイエンスショー、あそびの部屋等、学年に合わせたプログラムを用意しています。材料費が必要なものもあります。

○サイエンスコンテナ 学校に訪問し、天体観測やサイエンスショー等を行います。

○職場体験 実験・工作室、展示等の接客体験ができます。主に、夏休みに受け入れています。（※最低2日以上）

○教員研修会の開催 学校、幼稚園等の先生、児童館の指導員等を対象に開催します。当館の「もの作り」のノウハウや、実験技法等を提供します。

○リフレクシユ理科教室 応用物理学会東海支部、山梨大学等と協力し、夏休みに開催しています。教育現場で使える実験や工作を紹介します。
問い合わせ先 山梨県立科学館
電話（〇五五・二五四・八一五一）